

●新規供給動物 DahlS. Z-*Lepr^{fa}*/Slc ラットについて

日本エスエルシー株式会社

由来：慈恵医大、森先生より委託を受けて1999年導入。森先生と浜松医大、西村先生の共同開発による動物で、セアック吉富のDahlS/Jr SeaにZucker-*fa*/+を掛け合わせ作出されたコンジュニック系統である。導入時、N8世代で2000年SPF化後近交系として維持されている。2009年3月現在で、F18世代であり一般販売開始時期には、F20代となり近交系としての供給に問題は無いと思われる。同様にコントロール系統としてDahlR/JrSeaにZucker-*fa*/+を掛け合わせ作成されたDahl-R・*fa/fa*が作出されたが、繁殖能力が悪く途絶えてしまった。

特徴：肥満・高血圧・心不全・動脈炎等のモデルとして、有用ではないかと思われる。ホモ個体では、通常飼料を与えた場合でも雄で200日、雌で130日位で多くが死亡してしまう。ヘテロ個体においても結節性動脈炎が確認されているが、繁殖で使月している限り8ヶ月齢程度で死亡する事はない。但し、ヘテロでの寿命データは作成したことはない。ホモ個体は、*Lepr^{fa}*遺伝子の影響で過食になり肥満を呈するが、ヘテロ及びワイルドでは肥満は呈さない。残念ながら、現在まで高食塩食での飼育データが無く、また血圧測定したデータも無く、通常のダールラットの特性との比較もできていない（比較する場合はDIS/Eisと比較したいと思います）。

生産交配様式：ヘテロ同士の交配により維持生産し、ホモ(*Lepr^{fa}/Lepr^{fa}*)は5週齢以降外観上で確認が取れる。ヘテロ(*Lepr^{fa}/+*)・ワイルド(+/+)の判断は、PCRによって確認し、ヘテロは繁殖用親動物として使用する。ワイルドについては、対象動物としての販売に使用する。

コントロールについて：DahlR-*fa/fa*が途絶えてしまった為、ヘテロ同士の交配によって生れるワイルドタイプDahlS. Z-*Lepr^{fa}*/Slc(+/+Lean)が対照になると思います。但し、肥満の遺伝子が入っていないダールラットという事ですので、食塩負荷により高血圧にはなると思います。食塩負荷でも血圧の上昇しない対象動物は、Dahl-R(DIR/Eisをお勧めします)を使用する事になります。

販売予定動物：ヘテロ動物については、繁殖に利用できる為、基本的に供給販売は行わない。ホモ及びワイルドの販売を予定。但し、病態の関係でヘテロを研究目的とする場合は、繁殖をしない事を確認の上、供給を予定します。

現在までの発表資料：Diabetes Frontier Vol.8 1997 Dahl-*fa* コンジュニックラット作出の効率化 森政之・西村正彦・森豊・村川祐一・池田義雄